

# 中南米経済論成績評価方法

## 1. レポート発表 50点

1.1. 論題：ラテンアメリカの第2次大戦後の経済発展に関わる任意のテーマ。

### 1.2. 要件

1.2.1. 授業中に5分程度でレポートを受講生全員に配付の上、口頭で発表すること。

1.2.2. 自説が論証されており、かつ自説と他説（引用）が明確に区別され、引用文献が明示されていること。

1.2.3. 引用文献が3点以上あること。

1.2.4. 書式はA4版縦置き横書きで、ワープロもしくは手書き（楷書）によること（鉛筆不可）。

1.3. 発表したレポートが要件を満たしていない場合は再度発表する。

1.4. 1.2.の要件を満たしていれば、グループで発表したり、引用文献としてテキストの章を利用して可。

## 2. 他人のレポート発表で質問（コメント）をする 1回5点（ただし15点まで）

2.1. 質問（コメント）はその場で口頭で行うとともにラベルに記入して提出する。

## 3. 自分のレポート発表に対する受講生からの質問（コメント）に回答する 1回5点（ただし15点まで）

3.1. 質問（コメント）に対する回答はその場で不可能の場合は次回回答（発表）する（あわせてラベルに記入して提出する）。

## 4. 授業ラベルチャートの作成・配布 1回5点（ただし15点まで）

4.1. 次回までに授業ラベルチャートを作成 コピーしておき、次回時に配付・解説する。

4.2. 提出されたラベルは全て使用して授業ラベルチャートを作成すること。

## 5. 個人ラベルチャートの作成・提出（出席回数 x 1点）+（完成度:0-10点）

5.1. 最終回の授業で返却される毎回の授業で作成してきたラベルを使って、1年間の中南米経済論を振り返るラベルチャートを作成し、提出する。

5.2.（計算方法） 授業に出席した回数を限度として、ラベルチャートに使用したラベル1枚につき1点。これに、ラベルチャートの完成度に応じて、0-10点を加算する。

5.3. 個人ラベルチャートを提出しなければ、いわゆる「出席点」が評価されないことに注意。

## 中南米経済論成績評価方法

### 6. レポートを発表せずに提出する場合（4回生以上に限る） 総合点で最高70点まで

6.1. 論題：ラテンアメリカの第2次大戦後の経済発展に関わる任意のテーマ。

6.2. 要件（以下の要件を一つでも満たさないものは、提出したものとみなさない）

6.2.1. 自説が論証されており，かつ自説と他説（引用）が明確に区別され，引用文献が明示されていること。

6.2.2. 引用文献が5点以上あること。

6.2.3. 書式はA4版縦置き横書きで，ワープロによること（手書き不可）。

6.3. 提出期限：12月18日（金）17時まで

6.3.1. 期限を過ぎたものは理由のいかんを問わず一切受理しない。

6.4. 提出場所：商学部事務室

6.4.1. 研究室では一切受理しない。

1998年6月23日

## 中南米経済論受講生のみなさんへ大切なお知らせ

1. 98年度中南米経済論（第1部）の成績評価方法が決まりました。別紙「中南米経済論成績評価方法」を参照してください。
2. まだレポート発表日が決定していない受講生は、「中南米経済論レポート登録書」に必要事項を記入し署名捺印の上、7月10日（金）までに商学部事務室へ提出して下さい。期日までに「登録書」が提出されない場合、履修放棄と見なしますので注意して下さい。
3. 2回生及び3回生の場合、授業中にレポート発表を行わない場合、単位取得は事実上不可能ですので注意して下さい。

中南米経済論 担当 長谷川

-----切り取らずにこのまま提出して下さい-----

### 中南米経済論レポート登録書

学籍番号商\_\_\_\_\_ 名前\_\_\_\_\_ 印\_\_\_\_\_ 月\_\_日提出

あなたが4回生の場合：

（ レポート提出と発表・レポート提出のみ ） いずれかに を

レポートのテーマ：\_\_\_\_\_

あなたが2-3回生の場合：

レポートのテーマ：\_\_\_\_\_

発表希望日：（ 7月10日・9月25日・10月2日 ） いずれかに を